

## 会 議 録

### 1 会議名

平成 28 年度第 5 回津有区地域協議会

### 2 議題（公開・非公開の別）

(1) 地域活動フォーラム開催に係る事例発表候補者の推薦について（公開）

(2) 自主的審議につなげるための津有区の現状分析について（公開）

①雄志中学校の生徒との意見交換について（公開）

②今年度のスケジュールについて（公開）

### 3 開催日時

平成 28 年 9 月 6 日（火）午後 6 時 30 分から午後 7 時 45 分まで

### 4 開催場所

ファームセンター 1 階 農事研修室

### 5 傍聴人の数

なし

### 6 非公開の理由

なし

### 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：江平幸雄、太田政雄、小熊勇治、塩坪貞雄（副会長）、清水昇一、中嶋博  
服部香代子、古川昭作、丸山常夫、宮越隆一、山管節子、吉崎則夫（会長）  
渡部稔（欠席 1 人）

・事務局：中部まちづくりセンター 山田センター長、野口係長、小林主事

### 8 発言の内容（要旨）

#### 【小林主事】

・会議の開会を宣言

・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、成立を報告

#### 【吉崎会長】

・挨拶

#### 【小林主事】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

**【吉崎会長】**

- ・会議録の確認：清水委員

3議題（1）「地域活動フォーラム開催に係る事例発表候補者の推薦について」協議する。はじめに、この件について事務局に説明を求める。

**【小林主事】**

- ・「資料No.1」及び「平成27年度地域活動支援事業事例集」により説明

**【吉崎会長】**

事務局から説明があったとおり、12月11日に市が開催を予定している「地域活動フォーラム」において、今年度は上越市28区の中で今まで事例発表を行っていない区から、1件ずつ候補団体を推薦して、その中から市が発表団体を選定することになっている。また、推薦の対象は平成27年度に実施した事業及び、28年度の実施事業の中で12月までに事業の完了が見込めるものということだ。津有区の推薦団体については、皆さんから特に「この事業を実施したこの団体を推薦したい」というご意見がなければ、正副会長が推薦したい団体の候補をいくつか挙げ、その中から委員の皆さんの多数決で決定するような形をとりたいと思うがよいか。

**【宮越委員】**

会長の考えに賛成する。

（その他の委員からも賛成の声多数）

**【吉崎会長】**

賛成していただいたので、正副会長案を発表する。

推薦団体の1つ目は、平成27年度及び28年度に「津有地区地域づくり事業」を実施した「津有地区地域づくり協議会」だ。こちらの団体は、平成22年度から継続して地域活動支援事業の採択を受け、事業を展開している。具体的には文化祭の開催や広報紙「つあり」の発行、健康ウォークの開催、生活環境改善学習会など年間を通して津有区全域の住民を対象としたイベント等を開催している。

推薦する理由は、津有区に住む子どもから高齢者まで、全ての世代が交流する機会を創出している事業であり、生活環境改善学習会では、先進地への視察を実施し、津有区の地域づくりに活かしているからである。

次に、推薦団体の2つ目は平成28年度に「中学生まちづくりワークショップ【きれいなまちづくり】活動支援事業」を実施している「雄志中学校区青少年育成会議」だ。こちらの団体も、平成22年度から継続して地域活動支援事業を活用して、あいさつ運動、花いっぱい運動、雄志太鼓などの様々な事業を展開している。今年度は【きれいなまちづくり】をテーマとして中学生が地域活動に取り組むために必要な経費を補助している。

推薦の理由として、雄志中学校区青少年育成会議は『地域の子どもは地域で育てる』姿勢を大切に、年間を通して地域と子どもたちが触れ合うような事業を多く展開している。また、昨年度からは雄志中学校の生徒と3区地域協議会委員との意見交換会を実施し、お互いに情報共有を図りながら交流を行っていることが挙げられる。

それでは、以上の2つのどちらかを津有区地域協議会として推薦したいと思う。これから委員の皆さんの多数決を採るので、推薦したい方へ挙手願う。

はじめに、「津有区地域づくり協議会」を推薦したい方は挙手願う。

(8人が挙手)

次に、「雄志中学校区青少年育成会議」を推薦したい方は挙手願う。

(4人が挙手)

それでは、津有区地域協議会としては「津有地区地域づくり事業」を行った「津有区地域づくり協議会」を推薦することを決定する。

#### 【吉崎会長】

次に (2)「自主的審議につなげるための津有区の現状分析について」の①「雄志中学校の生徒との意見交換会について」の協議に入る。はじめに事務局へ説明を求める。

#### 【小林主事】

・資料No.2により説明

#### 【宮越委員】

去年はどんな感じだったのか。

#### 【小林主事】

昨年度は初めての開催であったが、協議会委員からも中学校からもとても好評であった。委員からは、「地域協議会で地域の中学生と関わる機会が少ないため、中学生の地域に対する思いや考え方などを知る良い機会になった」というご意見をいただいた。また、中学生からも「自分たちの考えたアイデアを地域の方が実現に向けて真剣に

考えてくれて嬉しい」と言った感想をいただいた。

【山田センター長】

補足するが、中学生との意見交換会の後に実施した、3区地域協議会委員による意見交換会では、各地域協議会の取組を理解するとともに、お互いの地域の良い所を知り、自分たちの地域活動に活かすための良い機会になったと思われる。

【吉崎会長】

事務局から昨年度の状況についても報告していただいたので、今年度の実施について皆さんに諮りたいと思う。諏訪区、高士区の意向も踏まえて実施を決定することにはなるが、津有区地域協議会としては今年度も中学生との意見交換会を実施したいという意向でよいか。

（「よい」の声多数）

次に日程の確認に入る。雄志中学校区青少年育成会議が希望する日時は資料に記載してあるとおりだ。この日程の中で、すでに地域行事等の予定が入っている日があれば教えて頂きたい。

— 日程調整 —

他区の状況も考慮し、事務局と学校で日程調整を行い、開催日を決まり次第、委員の皆さんへ案内するので、多くの皆さんから参加していただきたい。

次に、②「今年度のスケジュールについて」協議する。事務局に説明を求める。

【小林主事】

・資料No.3により説明

【吉崎会長】

事務局から説明があった資料の「自主的審議」の項目を見ていただきたい。1つ目の「研修」については、先ほど協議した「雄志中学校の生徒と地域協議会委員との意見交換会及び3区地域協議会委員による意見交換会」を3区合同研修と位置づけたいと思う。

次に2つ目の「データ分析」については、資料No.4のとおり「津有区の人口・世帯に関する基礎データ集」を配布した。こちらについては次回の会議でデータの内容について事務局から詳しく説明していただくので、次回会議までに目を通して来ていただきたい。

次に3つ目の「住民との意見交換会」については、まずは町内会長の皆さんとの意見

交換会を11月中に実施したいと考えている。また、前回の協議会で行ったフリートークの中でいただいた意見では、「町内会長だけでなく副会長にも出席していただいた方がよい」というご意見や、「町内会長の他に、地域活動の実施部隊である各団体の皆さんとも意見交換を行いたい」と言った意見もいただいた。

そこで、皆さんからいただいた意見を反映させて「実施計画(案)」を作成したので、ご覧いただきたい。この資料について、事務局に説明を求める。

#### 【小林主事】

- ・資料No.5により説明

#### 【吉崎会長】

今ほど説明のあった実施計画(案)について、これから項目ごとに皆さんのご意見を伺い、どのような形で実施するかを決定していきたいと思う。

はじめに実施日についてだが、地域協議会としては11月中の開催を希望し、詳細については町内会長協議会の会長や地域づくり協議会の担当者と相談した上で決定することとしてよいか。

(「よい」の声多数)

次に出席者について、例年は町内会長のみを対象としていたが、今年度は各町内から1人または2人の出席として、町内会長以外の出席者については各町内に任せたいと思うがよいか。

(「よい」の声多数)

次に、意見交換会終了後の懇親会だが、例年同様に地域づくり協議会の皆さんにより、実施する方向で進めてよいか。

(「よい」の声多数)

最後に、地域活動の実施団体との意見交換会の開催についてだが、私としては来年3月に実施を予定している「地域活動支援事業の募集説明会」と併せて実施してはどうかと考えているが、この時期について皆さんの意見を伺いたい。

#### 【服部委員】

意見交換と言ってしまうと、そこでいただいた意見を何らかの形で自主的審議や活動支援事業の採択方針等に取り入れなければいけないと思う。そうなると、活動報告会と同時開催では遅いと思う。ただ、今年度中に意見交換会を開催するのは時間的に厳しいので、今年度は「意見交換」ではなく「地域協議会の活動報告」という形にし

てはどうか。

**【吉崎会長】**

それも良い方法だと思う。今年度は報告会または説明会のような形に留め、来年度に地域活動団体との意見交換会を実施すれば、1年遅れるが地域活動支援事業の採択方針に取り入れることは可能である。

**【中嶋委員】**

活動団体の意見も来年度の採択方針に取り入れるべきだと思う。時間がないという理由で先送りにするのではなく、年が明けてすぐに実施してはどうか。

**【渡部委員】**

事務局に聞きたいのだが、今年の3月に開催した募集説明会には、地域活動団体の方ほどの程度参加されたのか教えてほしい。

**【小林主事】**

正確な人数は手元に資料がないのでお伝えできないが、地域活動団体の他に地域協議会委員や町内会長も含め、出席者は40名程度だったと記憶している。

**【塩坪副会長】**

もう1つの提案として、今年度は町内会長との意見交換会を実施し、来年度の早い段階で地域活動団体との意見交換会を実施してはどうか。今年度はまだ1年目なので、沢山詰め込んでも大変だと思う。時間はかかるが、順番に1つずつこなしてはどうか。

**【吉崎会長】**

それでは、今ほどいただいた3つの意見の中で挙手を取り、多数決で決めたいと思う。地域活動団体との意見交換会について、来年度の採択方針等を決める前に実施したいという方は挙手願う。

(3人挙手)

次に、今年度は実施を見送り、来年度の早い段階で実施したいという方は挙手願う。

(6人挙手)

最後に、3月に実施する活動支援事業の募集説明会と併せて「意見交換」ではなく、「協議会の活動報告」という位置づけで実施したいという方は挙手願う。

(3人挙手)

多数決の結果、2番目の「今年度は見送り、来年度の早い段階で実施する」という案を採用する。

次に、その他（1）「地域協議会だより速報版の発行について」協議する。第1回目の会議で、全戸配布する地域協議会だよりとは別に、津有区独自の取組として、班回覧する速報版の地域協議会だよりを発行することを決定しているため、その配布方法について協議する。詳細について事務局に説明を求める。

【小林主事】

- ・資料No.6により説明

【吉崎会長】

事務局からの説明のとおり、地域協議会だよりの速報版の配布方法だが、資料に出ている提案以外に意見等があればお願いします。

（意見なし）

それでは、挙手にて採決を採る。提案1「従来の方法」がよいと思う方は挙手願う。

（1人挙手）

次に、提案2「事務局案」がよいと思う方は挙手願う。

（過半数挙手）

大多数により提案2で決定する。

次に、その他（2）「次回の開催日について」協議する。

— 日程調整 —

- ・次回の協議会：10月4日（火）午後6時30分～ 津有地区公民館
- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-5111（内線 1449、1547）

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。